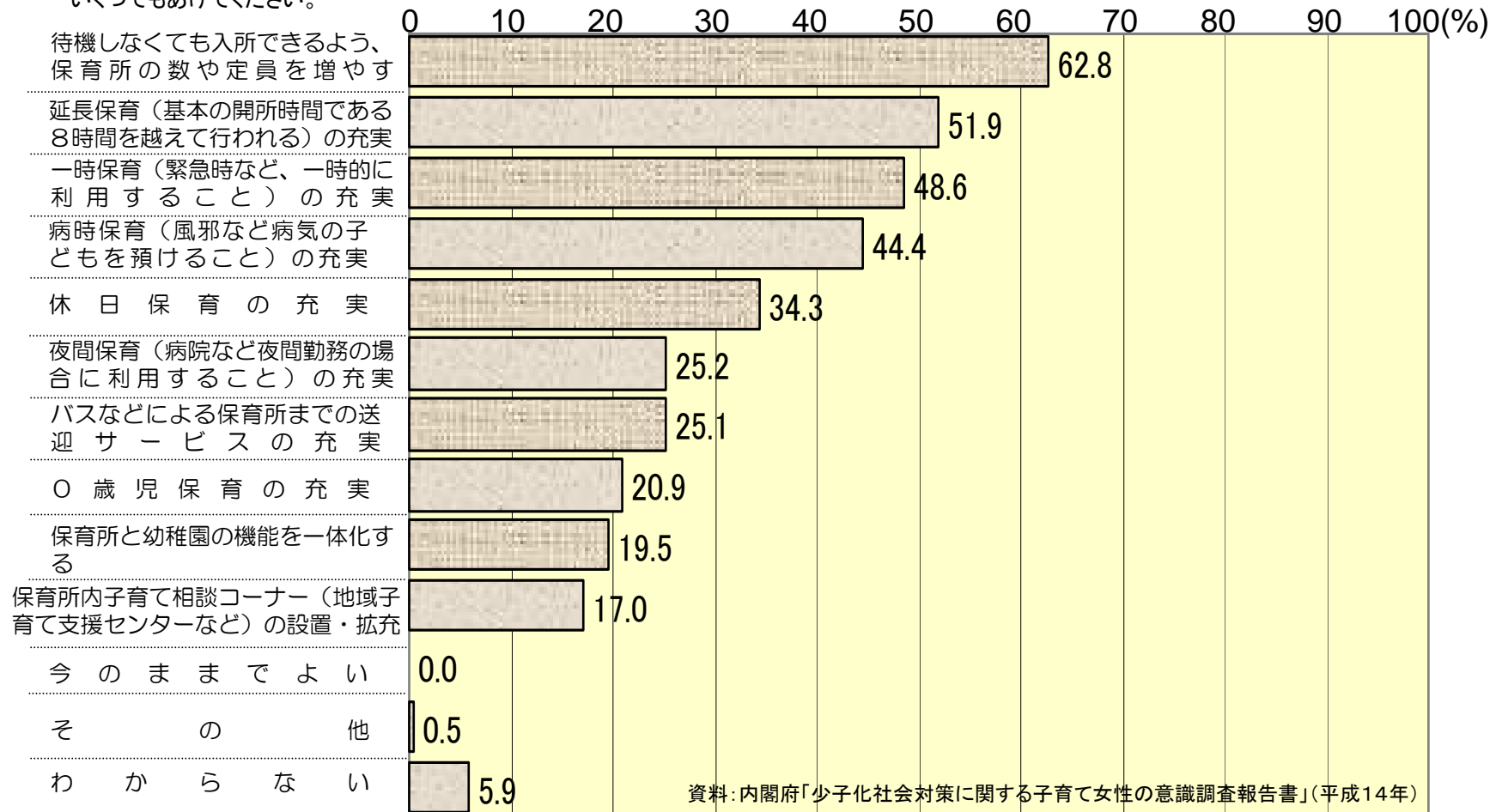


多様な保育サービスに対するニーズ

○ 保育所に関する要望では、「待機児童の解消」がトップに挙げられているほか、延長保育、一時保育、病時保育、休日・夜間保育等多様な保育ニーズへの対応を求める声も強い。

3 保育所のサービス充実

Q3 あなたは、保育所を少子化対策にいつそう役立てていくために、保育所のサービスをどのようにすることが望ましいと思いますか。この中からいくつかもあげてください。



保育の現状と課題

現状

○認可保育所（H17.4.1現在）

	合計	公立	私立
施設数	22,570	12,090	10,480
利用児童数	199万人	99万人	100万人

待機児童

- ・待機児童数 23,338人
(0歳2,417人 1・2歳13,414人 3歳以上7,507人)
- ・特定市町村数 94市区町村

特別保育

平成16年度

	合計	公立	私立
延長保育	13,086	4,422	8,664
一時保育	5,651	1,859	3,792
休日保育	618	64	554
夜間保育	64	0	64
地域子育て支援センター	2,786	1,431	1,355

○認可外保育施設（H17.3.31現在）

- ・施設数 7,176カ所
- ・利用児童数 18万人

○幼稚園（H17.5.1現在）

	合計	公立	私立
施設数	13,949	5,595	8,354
利用児童数	174万人	36万人	138万人

課題

1 待機児童の解消

- 待機児童ゼロ作戦で15.6万人（14年度5.4万,15年度5.8万,16年度4.4万）の受入児童数増
- 待機児童50人以上の市町村を中心に、平成19年度までの3年間で集中的に受入児童数を拡大。
- 重点的な施設整備（17年度補正予算275億円 18年度予算140億円）

2 多様な保育サービスの充実

○子ども・子育て応援プランの平成21年度目標

延長保育	16,200
一時・特定保育	9,500
休日保育	2,200
夜間保育	140
地域子育て支援センター	4,400

3 総合施設（「認定こども園」）の本格実施

4 規制改革（直接契約・直接補助）

- 規制改革・民間開放推進3か年計画（改定）
（平成17年3月25日閣議決定）
（中略）平成18年度から直接契約方式により本格実施される総合施設の実施状況等を勘案しながら、保護者が直接保育を希望する保育所に申込み、当該保育所が審査決定を行うこと（直接契約方式）ができないか、また、併せて、保育所に対する補助ではなく、利用者への直接補助方式を導入できないか、その可否について検討する。（略）【可否について長期的に検討】